

PCSA アクションレポート (コスト問題研究部会)

平成 29 年 12 月版

第 145 回コスト問題研究部会

- 開催日時 平成 29 年 12 月 14 日 (木) 午後 1 時～午後 5 時
開催場所 PCSA 会議室
出席人数 講師 2 名、部員 5 名、賛助部員 8 名、賛助会員オブザーバー 2 名、合計 17 名
出席者
- <講師>
- 高橋 正人 様 有限会社トータル・ノウ・コネクションズ 代表取締役
一般社団法人日本アミューズメントパチンコ産業ネットワーク 代表理事
北瀬 紳一郎 様 サン電子株式会社 チーフアナリスト
- <リーダー>
- 佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光 営業部 課長
- <サブリーダー>
- 宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役
- <部員>
- 呉 允博 株式会社日本ヒュウマップ 景品事業担当 (新規事業)
(株式会社ダイナムジャパンホールディングス)
佐々木 晃司 株式会社ニラク 購買部 部長
塩田 英紀 株式会社ヒカリシステム 東寺山店 ストアマネジャー
原田 明光 株式会社三永 経理財務部 経理課 課長
- <賛助部員>
- 園田 悦志 株式会社大商 関東統括支店長
鈴木 勝浩 オムロンアミューズメント株式会社 特機営業課 課長
小林 不二雄 株式会社ユーギシステム 専務取締役
荒井 努 グローリーナスカ株式会社 営業統括部 営業推進室
伊藤 真祐 株式会社 DMM.com 渉外統括補佐
前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長
古賀 新 株式会社インターコスモス 東京支店 支店長
- <賛助会員オブザーバー>
- 白石 光男 株式会社スリーストーン 代表取締役
堀金 泰陽 グローリーナスカ株式会社 営業推進室 サブマネージャー

1) 第2回コスト問題勉強会

<タイトル>

「今後の・・・【遊技機問題】と【業界情勢】 ～『コストをかけてでも、やるべき事』・・・は、今あるのか！？」

<講師>

高橋 正人 様 有限会社トータル・ノウ・コネクションズ 代表取締役
一般社団法人日本アミューズメントパチンコ産業ネットワーク 代表理事
北瀬 紳一郎 様 サン電子株式会社 チーフアナリスト

<概要>

利益率はあてにならない。粗利至上主義によってホールが弱体化した。

規則改正のおさらい。風営法 20 条において、著しく客の射幸心をそそる恐れのある遊技機を設置して営業してはならない、は非常に重要な文言。施行規則も改正。依存対策の話。これをやらないと風営法違反になる。管理者選任義務違反に該当する。

規則改正によって本当は 450 万台撤去しないといけなくはないのだが、いきなりはできないので、機種によっては取り締まりからこぼれる機種が出てくる。みなし機は基本全部ダメだが、そうするとホールで使える遊技機が足りなくなってしまう。取り締まりの猶予期間は不明。

今回の規則改正で、一番厳しいのは上限が下げられた事。パチンコに関しては問題ない。しかし、スロットには大問題。瞬発力がなくなってしまふ。パチンコは甘デジにおいては何も変わらないが、セブン機では問題になる。16 ラウンドが 10 ラウンドに下がった事が問題。大当たりの感動が途中で終わる感覚をお客様が味わう事になる。

これまで、メーカーは保通協で適合した日から 3 年間で検定期間となった。今までは、適合した日から、例えば半年寝かせて、年末などに公安に持ち込むとそこから 3 年間だった。これが出来なくなった。また、各都道府県によって、撤去に時間差が出てくる。

認定事前点検でシールを貼る。認定からみなし機なのか、検定からみなし機なのかを判断するのはシールを見る。オレンジのシールは認定の印。これはみなし機で撤去しないといけなくはない。仮に認定をした。みなし機になるはず。しかし、シールを貼っていない遊技機もある。これは 2 月 1 日までにホール中の台をチェックするべき。もし、シールがないのであれば、認定している疎明書類を準備しておかないと、撤去されてしまう可能性がある。準備を怠らない事。

大海 4 がこけるのは、沖海 4 を認定したから。認定した台には客をつかせるために玉を出す。その代わりに新台から粗利を取るようになる。その台に客がつくか？ 失敗したら売る事もできない。外したらもう使えない。恐らくは新台にしわ寄せがきて影響を被る。

前倒し認定で起きる問題について。とある県で認定通知日 1/1 と認定日 2/1 に期間があるように通知してしまつた。その間の遊技機は「検定機」と「認定機」のどちらとして扱うべきなのか？ その間に部品交換などが出来てしまう。

遊技機動向。2018 年は、今年と同じ。後半にパチンコ甘デジ新基準機が出てくる可能性。2019 年夏以降、高射幸機の認定切れによる撤去が始まる。全国 30 万台が入れ替えされる事になる。ここでホールに莫大な資金が必要になる。2020 年には管理遊技機が出てくるかもしれない。2021 年は、全ての現行機がすべて撤去になる。閉店するか全台撤去か。また、その時まで管理遊技機が出ているなら、そちらに移行させようという警察の意向が出てくると思われる。管理遊技機が出てきたら、コインサンド、島補給がなくなる。

現在、パチスロはまだ解釈基準が明確化されていないので開発が始められない。一方、パチンコは既に判明している。メーカーは、現行機の開発を継続中。

これからは、行政ではなく政治主導でホールに影響が出てくる。

今年と同じ事を来年やると利益が減る。結論は「コストをかけても今やる事は今はない。今はお金を貯める時期。」

2) 企業トピック「コストで得た情報を自社のコスト削減に適用した事例について」

- ・現在、電気代は高騰しているが、電力消費を抑えたりそもそもの電気料金自体を安価な提供先に変更することでイニシャルを償却すればメリットは更に増加する。
- ・下表に記した一連の電力コスト削減以外に当部会で得た情報を元に ①県外の単身赴任者の待遇を改善、②新聞折り込みチラシを4月より中止。悪影響なし。③新たに景品卸 K 社、景品卸 L 社との取引を開始し一般景品の利益率を改善、等も事例としてあげる。

| 時期 | 企業名 | 項目 | 年間削減金額(予想) | 導入コスト | 対象店舗 |
|---------|-----|-------------------|------------|---------|------|
| 2015年3月 | A社 | デマンドコントローラー導入 | 145万円 | 198万円 | A店 |
| 5月 | B社 | デマンドコントローラー導入(無償) | 60万円 | 54万円 | B店 |
| 6月 | C社 | 新電力導入 H社 | 1,170万円 | なし | 11店舗 |
| 11月 | D社 | 社内全体のコスト削減 | 3,330万円 | 1,565万円 | 13店舗 |
| 2016年4月 | E社 | 空調室外機洗浄コーティング | 88万円 | 48万円 | C店 |
| 同上 | E社 | 同上 | 203万円 | 87万円 | A店 |
| 6月 | F社 | 新電力更改・I社 | 950万円 | なし | 12店舗 |
| 2017年7月 | G社 | 店舗のオールLED(買取) | 395万円 | 1,250万円 | D店 |
| 同上 | G社 | 同上 | 345万円 | 1,250万円 | C店 |
| 5月 | B社 | デマンドコントローラー導入 | 145万円 | 427万円 | E店 |
| 7月 | F社 | 新電力更改・J社 | 985万円 | なし | 12店舗 |
| 12月 | F社 | 同上 | 97万円 | なし | F店 |
| 2018年1月 | F社 | 同上 | ※285万円 | なし | G店 |
| 4月 | E社 | 省エネコンサルタント変更 | ※987万円 | ※394万円 | 13店舗 |
| | | 合計 | 9,185万円 | 5,273万円 | |

※印 実施予定

3) 部員近況報告（コスト関連情報交換）

- ・平和のIR事業、楽天の携帯電話サービス参入などが気になった。
- ・認定業務が大幅に増加して夜中の2～3時でもホールに呼ばれる。
- ・新電力はまだまだ伸びしろのあるコスト削減だと考えている。
- ・コスト削減とは言っても、投資以上の利益が乗る件、企業トピックの事例のように投資すべき。

4) 次回開催

フィリップモリスジャパン合同会社 企業訪問・第146回コスト問題研究部会 in 株式会社DMM.com
 平成30年1月11日(木)
 午後1時～5時
 フィリップモリスジャパン合同会社 本社 会議室、株式会社DMM.com 本社 会議室

以上